

2  
病棟

## 子どもたちの生活のひとコマ



今年の夏も異常な暑さが続いています。しっかり水分補給をしながら体調管理に努めていきましょう。

さて2病棟では、「スマイルフラワー展・夏の制作会」として「ひまわりのトライアングル・ヒンメリ」を作りました。ちなみに「ヒンメリ」とは、藁のストローを用いた北欧の伝統的な装飾品のことです。にじみ絵で作った

自分だけのひまわりと、いろいろなストローをトライアングル型に組み合わせて、キラキラ輝く夏らしいモビールが出来上がりました。子どもたちは思い思いにストローやビーズをつなぎ合わせて、個性豊かな飾りになりました。風で揺れ動く姿も涼しげです。

また虹色ガーデンでは、春に子どもたちと種まきしたひまわりが、大輪の花を咲かせました（種まきの様子はニュースレター vol.293 をみてね）。子どもたちも一生懸命水やりをしてくれて、ひまわりが咲くのをとても楽しみにしていました。毎日暑いですが、ひまわりからパワーをもらって、この暑さを乗り切りたいですね。

(児童指導員 平田 真理子)



## ご存知ですか？ 感染管理認定看護師

まだ記憶に新しい「コロナ禍」、医療機関では医療従事者が団結し感染対策に取り組んできました。当院でも、職員が一丸となり取り組み、患者様やご家族にも強化した感染対策へのご協力をお願いしてまいりました。「コロナ」と同じくして「感染管理」「感染の看護師」といったよう感染管理認定看護師(インフェクションコントロール ナース:以下ICN)の存在が世間に広く認知してもらう期間でもあったと捉えています。

日本看護協会において、1995年に認定看護師制度が発足、2000年に感染管理分野が開校され、2001年に初めてのICNが全国に誕生しました。2023年12月時点で全国に3104名うち、三重県に49名のICNが登録されます。三重病院では2012年よりICNの活動が開始し、現在は2名のICNが活動しています。

私たちの仕事は、患者様やご家族はもちろん、職員、病院に出入りする全ての方々を対象に、多職種と協力して感染対策に関するシステムづくりをすることが主な活動となります。具体的には、平時から感染対策に対する知識や技術のレベルを向上・維持し提供できるよう院内ラウンド等による情報収集や職員を対象にした研修等を行います。また、コロナのような感染拡大や災害等の有事でも、感染対策が行えるよう年1回は施設全体で訓練にも取り組みます。そして院内に留まらず、

地域の医療機関や保健所等とも連携して取り組むことで、地域全体の感染対策のレベル向上にも貢献できるよう活動を行います。これら活動では、根拠を示し、実行に移すために根気よく働きかけることが求められます。そういった点が難しく、やりがいに感じることもあります。感染対策は、患者様やご家族はもちろん、職員一人ひとりのご協力があってこそ成り立ちます。これからも求められるニーズの把握に努め、取り組んでいきたいと思えます。

今回は特定行為看護師の紹介です。お楽しみに！

(感染管理認定看護師 鈴 美里)



新人研修の様子  
(防護具の着脱)



保健所等、外部施設から  
立ち入りの様子



技術練習の様子  
(吐物処理)



訓練の様子  
(テントの設営等)